



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月7日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武山 直民
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 加藤 洋平 (TEL) 052-805-8600
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,593	21.1	300	373.4	1,019	70.0	724	108.5
2021年3月期第3四半期	20,294	△13.5	63	54.6	599	34.0	347	△63.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,649百万円(206.0%) 2021年3月期第3四半期 539百万円(△21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	47.25	—
2021年3月期第3四半期	22.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	38,142	22,993	58.8
2021年3月期	38,784	21,502	53.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 22,434百万円 2021年3月期 20,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,600	15.7	520	9.8	1,350	8.1	900	△19.1	58.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	16,020,300株	2021年3月期	16,020,300株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	663,643株	2021年3月期	722,529株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	15,329,065株	2021年3月期3Q	15,268,037株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない状況であります。効果的なワクチンの普及や経済活動制限の緩和によって回復傾向でありましたが、世界的な感染症の再拡大によって、先行きの不透明感は強まっております。

わが国経済におきましても、緩やかに回復しつつあるものの、新たな変異株の広がりにより、予断を許さない状況が続いております。

また、当社グループの主要取引先であります自動車業界におきましては、世界的なサプライチェーンの寸断による生産計画の見直しなど、引き続き生産活動への影響が懸念されます。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は245億93百万円（前年同期比21.1%増加）、営業利益は3億円（前年同期比373.4%増加）、経常利益は10億19百万円（前年同期比70.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億24百万円（前年同期比108.5%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 可鍛事業

当セグメントにおきましては、一部、自動車生産の減少や原材料高騰はあったものの、世界的な経済活動の回復に伴い、売上高は239億93百万円（前年同期比21.5%増加）、セグメント利益（営業利益）は10億53百万円（前年同期比46.4%増加）となりました。

② 金属家具事業

当セグメントにおきましては、新しいオフィスの在り方やテレワーク需要に向けた商品開発、販売活動を推進しましたが、物流費や原材料高騰の影響により、売上高は6億円（前年同期比9.0%増加）、セグメント損失（営業損失）は35百万円（前年同期はセグメント損失20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は381億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億42百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が増加したものの現金及び預金が減少したことなどにより流動資産が15億16百万円減少し、関係会社出資金の増加などにより固定資産が8億73百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ21億33百万円減少し、151億48百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少などにより流動負債が16億68百万円減少し、長期借入金の減少などにより固定負債が4億65百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ14億90百万円増加し、229億93百万円となりました。主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,470,604	4,127,082
受取手形及び売掛金	5,798,776	5,617,139
電子記録債権	1,441,444	1,601,665
有価証券	29,991	30,021
商品及び製品	749,632	1,177,974
仕掛品	603,066	764,125
原材料及び貯蔵品	796,089	964,472
その他	327,721	418,504
貸倒引当金	△3,606	△3,682
流動資産合計	16,213,719	14,697,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,293,807	3,296,269
機械装置及び運搬具（純額）	5,682,554	5,457,332
工具、器具及び備品（純額）	595,543	751,445
その他（純額）	4,589,605	4,317,553
有形固定資産合計	14,161,510	13,822,601
無形固定資産	134,450	62,403
投資その他の資産		
関係会社出資金	4,846,161	5,744,356
その他	3,444,010	3,818,763
貸倒引当金	△15,096	△3,200
投資その他の資産合計	8,275,074	9,559,920
固定資産合計	22,571,036	23,444,925
資産合計	38,784,755	38,142,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,806,532	3,032,349
電子記録債務	2,324,184	2,496,781
短期借入金	2,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	859,474	775,120
未払法人税等	50,574	31,546
賞与引当金	330,913	87,082
その他	1,545,345	1,825,797
流動負債合計	9,917,024	8,248,676
固定負債		
長期借入金	4,290,495	3,790,291
役員退職慰労引当金	41,313	42,402
環境対策引当金	14,455	14,455
退職給付に係る負債	105,760	108,932
その他	2,912,830	2,943,761
固定負債合計	7,364,854	6,899,842
負債合計	17,281,879	15,148,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,000	1,161,000
資本剰余金	722,469	729,819
利益剰余金	17,428,722	17,968,682
自己株式	△243,249	△222,336
株主資本合計	19,068,942	19,637,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	987,322	1,131,115
繰延ヘッジ損益	—	102
為替換算調整勘定	708,541	1,528,539
退職給付に係る調整累計額	164,348	137,964
その他の包括利益累計額合計	1,860,212	2,797,721
非支配株主持分	573,720	558,823
純資産合計	21,502,875	22,993,709
負債純資産合計	38,784,755	38,142,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	20,294,215	24,593,789
売上原価	18,448,284	22,372,382
売上総利益	1,845,930	2,221,407
販売費及び一般管理費	1,782,460	1,920,901
営業利益	63,470	300,506
営業外収益		
受取利息	5,663	11,218
受取配当金	52,789	57,556
持分法による投資利益	407,061	486,653
その他	134,118	214,258
営業外収益合計	599,632	769,687
営業外費用		
支払利息	36,451	33,315
その他	26,936	17,359
営業外費用合計	63,388	50,674
経常利益	599,715	1,019,518
特別利益		
助成金収入	*1 138,815	*1 32,403
固定資産売却益	130	—
特別利益合計	138,945	32,403
特別損失		
固定資産除却損	17,509	3,608
新型コロナウイルス感染症による損失	*2 309,869	*2 87,379
特別損失合計	327,379	90,987
税金等調整前四半期純利益	411,281	960,934
法人税、住民税及び事業税	57,192	64,813
法人税等調整額	22,951	183,272
法人税等合計	80,144	248,086
四半期純利益	331,137	712,848
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,261	△11,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,398	724,391

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	331,137	712,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213,553	142,990
繰延ヘッジ損益	—	179
為替換算調整勘定	△18,508	408,449
退職給付に係る調整額	30,920	△26,383
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,096	411,547
その他の包括利益合計	207,868	936,784
四半期包括利益	539,006	1,649,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549,012	1,661,900
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,006	△12,268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等138,815千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等32,403千円を計上しております。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

休業中に発生した人件費、減価償却費等の固定費等309,869千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

休業中に発生した人件費、減価償却費等の固定費等87,379千円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,743,436	550,779	20,294,215	—	20,294,215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,743,436	550,779	20,294,215	—	20,294,215
セグメント利益又は損失(△)	719,164	△20,608	698,556	△635,085	63,470

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△635,085千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,993,111	600,677	24,593,789	—	24,593,789
外部顧客への売上高	23,993,111	600,677	24,593,789	—	24,593,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,993,111	600,677	24,593,789	—	24,593,789
セグメント利益又は損失(△)	1,053,128	△35,579	1,017,548	△717,042	300,506

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△717,042千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。